

農村振興

いわて



【明日に向かって：水源涵養林の育成】

2012

7

岩手県農村振興技術連盟

..... 7. 職場だより

自然豊かなこの地域を次の世代へ引き継ごう

(株)アルバライフ 長坂 幸博



1. はじめに

現在、地球の環境は、異常気象、オゾン層の破壊、大気の酸性化、特に地球の温暖化など深刻な問題が引き起こされています。このような環境問題が発生している背景には、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済システムの発展により私たちの暮らしが豊かになった一方で、自然環境に多大な負荷を与えたことにより、自然環境のバランスが崩れ、さまざまな自然災害がもたらされる結果となりました。このため、環境負荷を軽減する活動が求められている状況になっております。弊社では社長が「会社として環境問題への取組が必要である」と判断し、環境活動への取組を始めました。

環境方針

自然と共生できる環境に配慮した環境建材の使用や環境保全を推進し、人々が健やかに暮らせる快適性や安全性を考慮した快適な空間の提供を目指します。

地域密着の総合建設会社として常にプラス思考で自然環境への気配りを重視し、新しい時代に必要とされる、お客様から選ばれる企業を目指してがんばろう！

環境マネジメント活動により自然環境への負担を軽減し自然豊かなこの地域を次の世代へ引き継ごうではないか！

2. 環境活動への取組

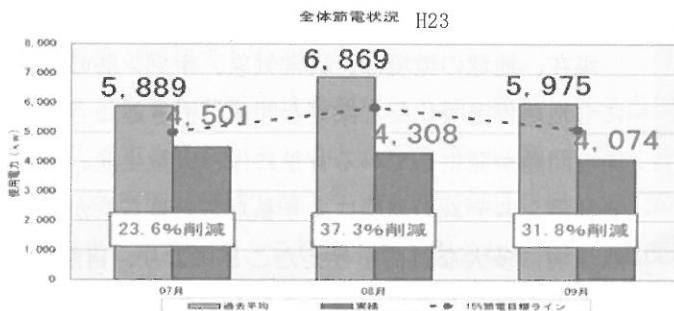
環境活動の取組として、環境省で進めている「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し活動を行っております。また、岩手県で取り組んでいる、「いわて地球環境にやさしい事業所認定」制度へ参加し認定を受けております。



3. 環境活動取組の紹介

(1) 電力使用量の削減

使用電力量 15% 削減という社長の方針により、節電プロジェクトチームを立ち上げ、電力使用量の削減に努めております。蛍光灯の間引き点灯、パソコンの省電力機能設定、各種機器の主電源オン／オフの励行、冷蔵庫温度弱設定、エアコン温度 28 度設定や扇風機の活用による冷房効率などの節電実施項目を定め実施しました。



消費電力が多くなる 7 月～9 月を強化月間として取り組んだ結果、目標の 15% 削減以上の成果がでました。この結果を事務所内に掲示し「取組成果の見える化」をすることにより、社員の取組への意識が高まりました。

また、東日本大震災の影響により、全国的に電力不足が懸念されたことからも、一人ひとりの節電に対する関心が高いことが成果に現れています。

(2) ガソリン等の使用燃料の削減



社内エコドライブ勉強会状況

弊社では講習会に参加してエコドライブの手法を学んだり、社内で実践ビデオを見て学習するなどをしてエコドライブを推進しております。

各部門毎にエコドライブの実践ポイントを冊子とビデオにより学習しエコドライブを実施するよう指導しております。

運転技術には個人差もありますし、基本的には安全第一とし、できる範囲で取り組むことにしております。

(3) 次世代エネルギーや省エネ建材への取組

弊社は総合建設業として設計・施工を行っており、これから時代に必要となる省エネ建材の積極的な活用を進めています。太陽光発電システムや遮熱工法、遮熱塗料、遮

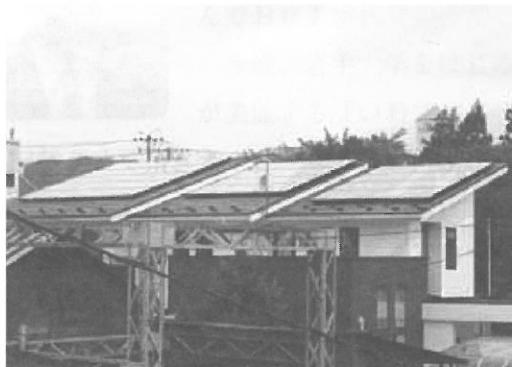
熱フィルム、エコ住宅など、省エネ効果のあるものを積極的に取り入れ、環境に配慮した物づくりを心がけております。



遮熱塗料・遮熱フィルムの施工



超薄型高遮熱工法による施工



太陽光発電システムの設置



(4) 地域環境活動及び復興支援活動

日頃お世話になっている周辺地域の方々へ感謝の気持ちを含めて、周辺地域の清掃活動を実施したり、市で実施している「クリーン作戦」へ参加し、地域の環境活動を実施しております。また、昨年と今年は東日本大震災の後、被災地である野田村へ側溝清掃や炊き出しのボランティア活動なども実施しました。



周辺地域清掃活動



野田村清掃活動

4. おわりに

岩手県の主要産業である農林水産業はまさに自然相手の産業で、自然環境の安定なくしては成り立ちません。自然環境を守り、豊かな自然を後生に残すことが農林水産業の安定にもなります。農林水産業の安定がなければ我々、建設業や他の産業も安定しません。産業間の密接な関係のもとに我々は生活できています。

誰もが自然の恩恵を受けて生きており、一人ひとりが環境保全に関心をもち行動を起こす事が必要です。私どもの環境活動は、ひとつひとつは些細で地味な活動ですがこの活動が少しでも環境保全に貢献できるという思いで、今後の活動を進めてまいります。

(管理本部課長)

